

**吉田百合ヶ丘団地から
北消防署間の通学路整備を**

議員 この区間は危険この上なく、特に下校時には大型車が背後から迫ることから、重大事故が懸念される。市長、教育長、県道管理者で現場を歩いていただきたい。



笠栄会 質問者

おくのやすひさ
奥野泰久 議員

所属議員

やまもととしあき
山本俊明 議員
せのおひろゆき
妹尾博之 議員



議員 消防団のなり手不足から、現場では支障が出ている。国の指導にも合致した団員の定年制を廃止し、機能を強化できなか。

市長 県からは、用地確保のできていらない箇所はあるが、来年度より工事可能となつた箇所から工事を検討すると聞いている。現地は2、3回通つて危険性も認識しており、県へ強く要望していきたい。

教育長 場所により、コンクリート蓋が無い箇所も確認している。

建設産業部長 蓋かけは工法について協議になると思うが、県の回答から、できるところはしていたただけると考えている。

議員 もう少し慎重に願いたい。

消防長 今度、臨時の分団長会議でお話をしたい。

議員 地域限定の給付型奨学生制度を広く低所得者資金給付事業と

市長 新規事業として、食事や人との交流ができる居場所づくりを考えている。補助団体と連携をとりながら支援へつなげたい。

※他に「笠岡市幼保一元化」について質問しました。

消防団員の定年制廃止による機能の強化を

子どもの貧困対策充実を

議員 子どもの貧困問題が叫ばれる中、笠岡市の貧困率調査はどうなっているのか。

市長 来年度岡山県立大学の協力のもと、子どもの生活に関する実態調査のアンケート内容について協議する。

議員 定年制廃止のため平成27年から相当時間をかけ、団員の意見を聞き、差替え前の条例を準備したのではないか。今の内容は団員に了解をとっているのか。

議員 来年度子ども食堂運営への補助金制度を新設するとのことだが、市としても独自に取り組むべきではないか。

議員 文科省は就学援助費の支給を「必要とする時期に合わせる」よう通知している。特に入学準備金は国も予算を倍加しており、給付時期を4月とするよう配慮できないか。

市長 通常は6月から7月だが、4月支給については研究協議

議員 文科省は就学援助費の支給を「必要とする時期に合わせる」よう通知している。特に入学準備金は国も予算を倍加しており、給付時期を4月とするよう配慮できないか。



日本共産党

ひのつみちこ
樋之津倫子 議員

所属議員

いぎまもる
井木守 議員

